

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 407 号	氏名	芝原 攝也
学位審査委員	主査	畑山 範	
	副査	尾野村 治	
	副査	田中 正一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、医薬開発に繋がる天然物合成の研究分野で注目を集めている二つの抗腫瘍活性天然物 phoslactomycin B と chloptosin を合成標的として取り上げ、それら化合物の効率的合成法を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 Phoslactomycin B の合成研究をとおして、高エナンチオおよびジアステレオ選択的な不斉ペンテニル化反応、高効率な鈴木-宮浦反応に基づく 4 置換炭素上へのアミノエチル基の導入、高位置選択的な閉環メタセシス、高位置および立体選択的な不斉ジヒドロキシル化反応を組み合わせた方法論を考案し、phoslactomycin 類天然物の効率的な一般合成法を開発した。また、chloptosin の合成研究をとおして、パラジウム触媒下のカップリング反応を活用するビストリプトファン誘導体の効率的合成に基づくビスピロインドリンコア部構築の新たな方法論を開発した。よって、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で合成研究を行った結果、phoslactomycin B のエナンチオ制御合成と chloptosin の形式合成にそれぞれ成功し、今後のこれら天然物に基づく医薬開発研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は薬学の有機合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			